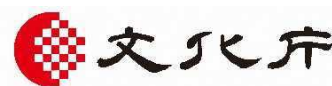


東アジア文化都市2023静岡県

スポーツ・文化観光部
文化局 文化政策課



1

- 1 ロゴマークの紹介
- 2 事業の全体像
- 3 全体スケジュール
- 4 地域連携プログラム
 - ・ 市町事業助成
 - ・ 民間事業助成
 - ・ 認証事業（市町、民間）

2

1 ロゴマークの紹介



東アジア文化都市 2023 静岡県

Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA

【ロゴマークの意味】

日本の飾り結びのうち、結びつきの象徴として縁起が良いとされる「あげまき結び」の、結ぶ前の形状をモチーフとしている。

3国で交流するため3色を使い、特に青色で富士山の形を、赤と黄色でハートの形を連想させる。また、完全に結ぶ直前の形にすることで、文化振興や東アジアの交流が、今後発展し確実に実を結んでいく意味を込めている。

【あげまき結び】



市町広報や関連イベントにて、ぜひ積極的に活用ください！

広報（PR）動画をご覧ください！



2 事業全体像①（基本計画）

実施主体	内容
交流事業 ・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・公式式典、交流プログラム、 ・ SNSを通じた情報発信 ・ 中国・韓国の開幕/閉幕式典への参加、その他の国際交流事業
コア事業	<ul style="list-style-type: none"> ◎本県独自の文化芸術事業を展開 ・ 国際オペラコンクール ・ SPACせかい演劇祭 ・ 富士山世界遺産登録10周年事業 ・ 伊豆文学祭(仮称) ・ アーツカウンシルしずおか支援事業 ・ その他県主催事業
協働 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ◎文化の首都として、幅広い分野で魅力を発掘・発信 ・ スポーツ文化 ・ 歴史文化 ・ 食文化 ・ 茶文化 ・ 花文化 ・ 農業 ・ ファッション ・ 温泉文化 ・ サブカルチャー
地域連携 プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ◎市町、地域の様々な団体と連携した文化事業 ・ 各市町、実行委員会主催事業 ・ 民間主催事業



オペラコンクール



SPAC演劇公演



サイクルツーリズム



県産食材の魅力発信
仕事人レストランフェア

※ 今後、幅広い分野で関連事業を追加

4 地域連携プログラム

東アジア文化都市における静岡県の考え方は、一般的に想定される文化芸術活動（芸術、文化財など）ではなく、芸能、スポーツ、茶道・食文化・娯楽の生活文化など、全般を対象として、より文化を広く捉えることとした。

定義（補助金交付要綱第2）

「文化によって住民の暮らしを豊かにし、地域の活性化や観光の振興等につながるイベント等の開催事業」

→ その価値や魅力等を国内外に発信できる事業

文化の捉え方（同要領第2（2））

文化芸術をはじめ、スポーツ、食、ファッション、芸術・芸能、温泉、旅、花・庭、地域産業、多文化共生等の多彩なテーマで開催する文化事業

→ その価値や魅力等を国内外へ発信できる事業



実施コンセプトである「ようこそ！文化が花開く ふじのくに芸術回廊へ！」の実現に向けて、県民総がかりで取り組んでいく。

7

4 地域連携プログラム（市町事業助成）

実施目的

- ・ 行政が主体または参画し、県内の市町で実施される文化事業を、東アジア文化都市2023静岡県を契機に実施することで、県内各地の魅力発信を図る

補助対象者

- ・ 政令市を除く市町又は市町が参画する実行委員会（調整中）

補助対象事業

- ・ 前ページの『文化の定義』に関する事業であること。
- ・ 次のいずれかに該当するもの
 - ① 中国、韓国をはじめ文化における国際交流に関わる事業
 - ② 国内・海外に静岡県及び県内市町の文化の魅力を発信できる事業
 - ③ 全国に共通する文化の魅力を日本の代表として発信できる事業

補助率・上限額等

1/2, 5,000千円

地域局と連携し事業を推進

8

4 地域連携プログラム（市町事業助成）

●スケジュール

時 期	内 容
令和4年12月28日	要望調査の実施
令和5年1月20日	市町事務担当者説明会
令和5年3月24日	市町事務担当者説明会（第2回）
令和5年4月～	地域局宛てに交付申請書提出（都度）
令和5年4月～	交付決定・事業実施
令和5年4月～	実績報告書の確認、補助金の支払い（事業終了後）

現時点！

9

4 地域連携プログラム（民間事業助成）

4月～受付開始予定

実施目的

- ・ 民間の活力により、東アジア文化都市に対する県民理解を深め、交流を通じて観光や産業に活かす創造的な地域づくり、東アジア域内の相互理解の促進を図る

補助対象者

- ・ 県内民間団体・グループ

補助対象事業

- ・ 前ページの『文化の定義』に関する事業であること。
- ・ 次のいずれかに該当するもの
 - ① 中国、韓国をはじめ文化における国際交流に関わる事業
 - ② 国内・海外に静岡県及び県内市町の文化の魅力を発信できる事業
 - ③ 全国に共通する文化の魅力を日本の代表として発信できる事業

市町向け助成と同様

上限額・補助率等

300千円（予定）、非営利団体等：3/4以内、それ以外：1/2以内

10

4 認証事業（市町・民間認証事業）

3月下旬申請受付予定

実施目的

- ・産官学総がかりで「ようこそ！文化が花開く「ふじのくに芸術回廊」へ！」をコンセプトに、幅広い分野にわたり期間中多彩なプログラムを県内各地域で重層的に展開し、本県及び日本の文化の魅力を本県から国内外に発信することを目的とする。

申請者

- ・県、市町、県内民間団体・グループ

認証の対象

- ・前ページの『文化の定義』に関する事業であること。
- ・次のいずれかに該当するもの
 - ① 中国、韓国をはじめ文化における国際交流に関わる事業
 - ② 国内・海外に静岡県及び県内市町の文化の魅力を発信できる事業
 - ③ 全国に共通する文化の魅力を日本の代表として発信できる事業

市町向け助成と同様

認証した事業・活動への支援

- ・東アジア文化都市2023静岡県のロゴマークの使用の許可
- ・実行委員会等の広報媒体を通じた情報発信
- ・アーツカウンシルしずおかのプログラム・ディレクター等による助言、相談対応

11

市町名	区分	事業・イベント名	開催日		開催場所	参加人数
			始期	終期		
静岡市	芸術	大道芸ワールドカップ	11月上旬		静岡市	600,000
	スポーツ	第37回全国少年少女草サッカー大会	8月11日	8月20日		3,000
	産業	第61回 静岡ホビーショー	5月10日	5月14日		25,000
浜松市		取りまとめ中				
沼津市	茶	ぬまづ大茶会 (沼津市制100周年記念・第41回ぬまづ茶会)	5月14日	5月14日	沼津市	1,500
	芸術	沼津市芸術祭特別企画 (次世代へfor the future.../フラーメンコ+パレエ (仮称))	9月1日	9月1日	沼津市	1,500
	芸術	沼津市芸術祭	秋	秋	沼津市	10,000
	芸術	版画滞在制作事業	夏~冬	夏~冬	沼津市	50
	音楽	市制100周年記念市民が歌う沼津第九演奏会	12月3日	12月3日	沼津市	1,500
熱海市		取りまとめ中				
三島市	その他	三嶋大祭り	8月5日	8月27日	三島市	500,000
富士宮市	国際交流	韓国栄州市高麗人参まつりへの文化産業訪問団派遣事業	秋頃	秋頃	韓国栄州市	1,000,000
伊東市	その他	桜針祭海の花火大会	8月		伊東市	200,000
	その他	タライ乗り競争	7月		伊東市	
	その他	伊東市芸術祭	9月	11月	伊東市	5,000
島田市	スポーツ	しまだ大井川マラソンinリパティ	10月	10月	島田市	9,600
富士市	その他	富士まつり2023	7月23日	7月23日	富士市	60,000
磐田市	スポーツ	磐田U-12国際サッカー大会	7月28日	7月31日	磐田市	200
	国際交流	磐田・袋井・掛川インターナショナルフェア	1月22日	1月23日	磐田市	不明
	スポーツ	多文化SHIZUカップ	未定	未定	磐田市、浜松市など	300
	国際交流	みんな集まれ!	未定	未定	磐田市	70

市町名	区分	事業・イベント名	開催日		開催場所	参加人数
			始期	終期		
焼津市	文化財	(仮) 焼津遺産フォーラム (焼津の伝統食等を周知するイベント)	調整中		焼津市	
	食	魚フェス+全国かつおまつり	11月4日	11月4日	焼津市	
	スポーツ	青少年スポーツ交流事業	5月	8月	モンゴル国	
掛川市	芸術	かけがわ茶エンナーレ2024 プレイメント	未定	未定	掛川市	10,000
	その他	第73期王将戦七番勝負掛川対局開催	未定 (1~3月)		掛川市	1,500
藤枝市	スポーツ	全国PK選手権大会in Fujieda	8月19日	8月20日	藤枝市	10,000
	国際交流	藤枝地域の魅力再発見事業	12月	12月	藤枝市	25
	芸術	びじゅつじょろん6 (仮)	2月19日	2月27日	藤枝市	800
御殿場市	スポーツ	富士登山駅伝競走大会	8月6日	8月6日	御殿場市	3,000
袋井市	農業	鳥居信平氏・生誕140周年記念講演会			袋井市	100
	芸術	県オペラコンクール開催記念 三浦環講演会			袋井市	100
	スポーツ	NEW!わかふじ国体20周年記念事業	10月	10月	袋井市	1,000
	スポーツ	スポーツを核とした地域振興事業 (スポーツ合宿誘致・受入)	5月	3月	袋井市	300
	芸術	ふくろい遠州の花火	7月29日	7月29日	袋井市	400,000
	その他	遠州三山風鈴まつり	5月20日	8月31日	袋井市	800,000
	食	どまん中ふくろい全国だんごまつり実行委員会	11月3日	11月3日	袋井市	25,000
下田市		取りまとめ中			下田市	
裾野市	その他	秋花火	調整中	調整中	裾野市	10,000
湖西市	その他	湖西おいでん祭	9月頃		湖西市	7,000
	花・庭	中根金作庭園整備事業	4月1日	12月31日	湖西市	不明
	芸術	湖西市芸術祭 (芸能祭・音楽祭・白秋祭)	5月20日	10月9日	湖西市	1,150
	食	「こさいの豚肉」PRイベント開催事業	9月	11月	湖西市	500

市町名	区分	事業・イベント名	開催日		開催場所	参加人数
			始期	終期		
伊豆市	文学	(仮) 伊豆文学まつり ほか	10月	12月	伊豆市	500
	文学	絵本ツーリズム	10月	11月	伊豆市	50
	文学	井上靖顕彰イベント(敦煌・楼蘭)【予定】	10月	11月	伊豆市	300
	音楽	伊豆市グリーンコンサート2023【予定】	11月26日	11月26日	伊豆の国市	970
	音楽	(仮) ピアノコンサート	9月	10月	伊豆市	300
御前崎市		取りまとめ中				
菊川市	茶	茶畑の中心で愛を叫ぶ!	10月1日	10月1日	菊川市	150
	芸術	菊川市文化祭	10月28日	10月29日	菊川市	1,500
	芸術	菊川市芸術文化振興事業	秋	秋	菊川市	500
	産業	菊川市産業祭	11月19日	11月19日	菊川市	13,000
伊豆の国市	国際交流	友好都市文化交流事業(中学生海外研修)	8月4日	8月9日	モンゴル国ソングノハイルハン区	14
	スポーツ	モンゴル国フットボール友好伊豆の国市長杯少年柔道錬成大会	12月2日	12月12日	伊豆の国市	300
牧之原市	スポーツ	第2回静岡パラサーフィンフェスタ「JAPAN OPEN」	4月22日	4月24日	牧之原市	3,000
東伊豆町		取りまとめ中				
河津町	スポーツ	第8回 河津フラワートライアスロン大会	10月29日	10月29日	河津町	500
南伊豆町	食	①南伊豆町伊勢海老まつり(10/1~11/30)②伊勢海老づくしの特別な日(10/8予定)	10月1日	11月30日	南伊豆町	1,000
松崎町	その他	「依田勉三」生誕170年イベント	6月25日	6月25日	松崎町	500
	芸術	全国漆喰こて絵コンクール	7月	11月	松崎町	500
西伊豆町	旅	客船への食材提供事業①	7月26日	7月26日	西伊豆町	500
	旅	客船への食材提供事業②	8月20日	8月20日	西伊豆町	500
	旅	「食」をテーマとしたツアー事業	4月1日	3月31日	西伊豆町	100
	スポーツ	スポーツ合宿の誘致事業	4月1日	3月31日	西伊豆町	100

市町名	区分	事業・イベント名	開催日		開催場所	参加人数
			始期	終期		
函南町	その他	かなみ猫おどり	8月5日	8月5日	川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」	5,000
清水町	その他	湧水まつり	8月5日	8月5日	清水町	15,000
	国際交流	姉妹都市・友好都市交流事業	11月3日	1月下旬	清水町	360
	芸術	泉のまち音楽会/泉のまちカレッジ/音楽コンサート/町全体が美術館/古典芸能鑑賞会/文化芸術講座/芸術祭/文芸しみず記念事業	4月4日	3月31日	清水町	-
	花・庭	柿田川みどりまつり	5月13日	5月13日	清水町	1,000
	その他	町制施行60周年記念式典	11月3日	11月3日	清水町	300
長泉町	文学	井上靖文学館 開館50周年記念事業	11月25日前後		長泉町	不明
小山町	スポーツ	モータースポーツの聖地「富士スピードウェイ」のコースを走るマラソン大会。	12月17日	12月17日	富士スピードウェイ(小山町)	2,000
	スポーツ	ツアー・オブ・ジャパン2023富士山ステージ	5月26日	5月26日	小山町	10,000
	世界遺産	富士山 世界文化遺産登録10周年記念事業	7月1日	7月1日	小山町	200
	国際交流	小山高校・海寧高級中学校交流事業	8月上旬	8月下旬	小山町・海寧市	30
	国際交流	国際姉妹都市カナダミッション市公式訪問団受入れ事業	10月	10月	小山町	20
吉田町		取りまとめ中				
川根本町	文化財	文化財広報事業	4月1日	3月31日	川根本町	
森町	書	杭迫柏樹 書道作品展(仮)	9月又は10月		森町	1,000
	文化財	国指定重要無形民俗文化財 遠江森町の十二段舞楽(仮)	実施未定		森町	500
	芸術	第6回陶芸家作品展遠州森乃炎	6月9日	6月11日	森町	400
	その他	電動アシスト付き自転車特別試乗会in森町	10月1日	10月1日	森町	180
	その他	森町産業祭「もりもり2万人まつり&農協祭」	11月19日	11月19日	森町	5,000

「伊豆半島 住む人・来る人 感謝祭」の開催結果

(賀茂地域局、美しい伊豆創造センター)

要旨

コロナ禍により停滞する地域経済の活性化及び、令和 5 年 3 月 19 日の伊豆縦貫自動車道河津下田道路の一部開通や伊豆半島ジオパークの再認定を踏まえた、「世界レベルの魅力あふれる自然を生かした観光交流圏」の実現に向け、地域住民が伊豆半島の魅力を再発見・満喫し、来訪者に伊豆半島・賀茂地域の魅力を情報発信することを目的に、観光・商工団体、市町、県、美しい伊豆創造センター（以下「美伊豆」）が一丸となり、観光・物産展フェアを定期的で開催した。

1 目的・対象

目的	「世界レベルの魅力あふれる自然を生かした観光交流圏」の実現	
対象	地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力再発見 [観光 (歴史・ジオ)、物産など] ・伊豆縦貫自動車道延伸、早期完成への機運醸成 ⇒地域住民の満足度向上、経済活性化
	来訪者等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力発信 [観光 (歴史・ジオ)、物産など] ・伊豆縦貫自動車道延伸による利便性 PR ⇒主に伊豆半島地域内の交流、経済活性化

2 開催概要

イベント名称	伊豆半島 住む人・来る人 感謝祭 (伊豆・住・感:いず じゅう かん)
実施主体	主催: 静岡県賀茂地域局、(一社) 美しい伊豆創造センター
日時	令和 5 年 3 月 18 日 (土) 10 時~16 時 3 月 19 日 (日) 10 時~15 時 ※出張料理教室は、各日第 1 部: 10 時~、第 2 部: 13 時 30 分~
会場	道の駅「開国下田みなと」
展示内容等	<ul style="list-style-type: none"> ○物産販売 (地域ブランド品、スイーツ等の販売)、キッチンカー出店 ※伊豆半島 15 市町の商工会等を通じて募集 ○伊豆半島ジオパーク PR ブース ○伊豆縦貫自動車道 PR ブース ○災害体験・防災啓発コーナー (起震車や VR 体験等) ○地域食材を使った出張料理教室 (ABC スタイル)

3 開催結果等

- ・キッチンカーエリア 7 者 (両日出店 3 者)、特産品ブース 15 者 (両日出店 12 者)
- ・来場者数 (概算): 3,300 名 (3 月 18 日 300 名、3 月 19 日 3,000 名)
- ※ABC スタイル出張料理教室参加延べ人数 35 名 (同伴者含まず)

4 今後の展開

- ・継続的なイベント開催によるイベント自体のブランド化 (令和 5 年開催予定)
- ・賀茂地域 1 市 5 町との連携強化

(メイン会場のようす)



(伊豆半島ジオパーク PR ブース)



(伊豆縦貫自動車道 PR ブース)



(起震車)



(防災展示)



災害備蓄食料の共同調達に係る検証報告

(賀茂地域局)

1 要旨

賀茂地域広域連携会議の取組事案である「市町間連携による共同調達体制の構築」に関して、今年度は災害備蓄食料を対象とした共同調達を試行したので、その検証結果を報告する。

2 実施概要

参加市町	東伊豆町、松崎町、西伊豆町
調達品目・数量・仕様等	(別紙1「調達品目等一覧」を参照)
調達方法	参加3町が協定を締結した上で、東伊豆町が幹事町として一括して入札等を行い、各町が個別契約

※ 「共同調達に関する基本協定書(写)」は別紙2を参照。

3 検証結果

- ・スケールメリットを享受するためには調達品目の仕様を統一することが必要
- ・幹事を務めた東伊豆町は通常の入札等事務のほか、参加市町間の調整(時期、品目、数量及び入札参加業者等)など新たな事務が発生

4 検証結果を踏まえた調整事項

今後の共同調達体制の可能性やあり方の検討に当たり、以下の3点について調整が必要となる。

(1) 選定すべき対象品目

- ① 6市町で仕様が同じ品目
- ② 市町間で早期かつ容易にすり合わせ可能な品目
- ③ 調整を要するが、金額が大きくスケールメリットが出やすい品目等

(2) 「協議の場」の設置

- ・「協議の場」に参加すべき関係部署としては、物品を必要とする担当課のほか会計事務担当課や、全体を統括する企画担当課など
- ・「協議の場」は6市町間の調整を担い、「品目の選定」「共同調達手法」「課題への対応」等について協議

(3) 恒久的な協定の締結

- ・試行では一時的な協定としたが、本実施では6市町間で物品共同調達に係る恒久的な協定を締結

5 今後の方向性

- ・調整事項を踏まえて、幹事会にて専門部会の設置も含めた検討をしていく

災害用備蓄食料 調達品目等一覧

品目大区分	品目中区分	単位等	仕様特記事項	必要数量	購入者	納入先	該当品例示(メーカー・商品名)
アルファ米	味付けごはん	1食/個	① 1食毎の個食タイプ(スプーン付き) ② 内容量100g以上 ③ 少量の水若しくはお湯で調理できるもの ④ 常温での保存可能期間5年以上、かつ賞味期限が令和9年12月末以降 ⑤ 食品表示法で表示が定められているアレルギー物質28品目不使用	20,000 個	東伊豆町 (防災課)	東伊豆町防災倉庫 (東伊豆町立体育センター(賀茂郡東伊豆町稲取3348-19)付近)	尾西 (ドライカレー・わかめごはん)
レトルト米	味付けごはん	1食/個	① 1食毎の個食タイプ(スプーン付き) ② 内容量280g以上 ③ そのまま食することができるもの(水の必要がないもの) ④ 常温での保存可能期間7年以上、かつ賞味期限が令和11年12月末以降 ⑤ 食品表示法で表示が定められているアレルギー物質28品目不使用	6,600 個	松崎町 (総務課防災係)	旧岩科小学校 1階多目的ホール (賀茂郡松崎町岩科北側442)	レトルト米 HOZON HOZON おいしいごはん
	玄米がゆ	1食/個	① 1食毎の個食タイプ(スプーン付き) ② 内容量220g以上 ③ そのまま食することができるもの(水の必要がないもの) ④ 常温での保存可能期間4年以上、かつ賞味期限が令和8年12月末以降 ⑤ 食品表示法で表示が定められているアレルギー物質27品目不使用	250 個	西伊豆町 (防災課)	西伊豆町役場本庁舎 1階 (賀茂郡西伊豆町仁科401-1)	レトルト米 石井食品 玄米がゆ
				250 個		西伊豆町住民防災センター (賀茂郡西伊豆町宇久須270-1)	
	玄米小豆がゆ	1食/個		1,000 個		西伊豆町役場本庁舎 1階 (賀茂郡西伊豆町仁科401-1)	
				1,000 個		西伊豆町住民防災センター (賀茂郡西伊豆町宇久須270-1)	
	玄米梅がゆ	1食/個		1,000 個		西伊豆町役場本庁舎 1階 (賀茂郡西伊豆町仁科401-1)	
1,000 個				西伊豆町住民防災センター (賀茂郡西伊豆町宇久須270-1)			
飲料保存水	容量大	2ℓ/本	○常温での保存可能期間12年以上、かつ賞味期限が令和16年12月末以降	600 本	松崎町 (総務課防災係)	旧岩科小学校 1階多目的ホール (賀茂郡松崎町岩科北側442)	12年保存飲料水 DSW PREMIUM 12YEARS
	容量小	500ml/本	○常温での保存可能期間12年以上、かつ賞味期限が令和16年12月末以降	2,400 本	松崎町 (総務課防災係)	旧岩科小学校 1階多目的ホール (賀茂郡松崎町岩科北側442)	12年保存飲料水 DSW PREMIUM 12YEARS
長期保存ゼリー		1食/個	① 1食毎の個食タイプ ② 内容量100g以上 ③ 常温での保存可能期間5年以上、かつ賞味期限が令和9年12月末以降 ④ 食品表示法で表示が定められているアレルギー物質28品目不使用	2,000 個	松崎町 (総務課防災係)	旧岩科小学校 1階多目的ホール (賀茂郡松崎町岩科北側442)	LIFESTOCK エナジータイプ



東伊豆町、松崎町及び西伊豆町による物品の共同調達に関する基本協定書

東伊豆町（以下「甲」という。）と松崎町（以下「乙」という。）と西伊豆町（以下「丙」という。）は、物品を共同して調達する（以下「物品の共同調達」という。）ために必要な基本事項に関して、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条

この協定は、物品の共同調達に関する基本事項に関し、甲、乙及び丙の合意事項について定め、公共調達の円滑化と効率化を図ることを目的とする。

（対象物品）

第2条

共同調達の対象とする物品は次のとおりとする。

品目 災害用備蓄食料等

（仕様）

第3条

対象物品の仕様は、購入数量、規格のほか必要な内容について甲、乙及び丙による協議の上、別途定める。

（発注）

第4条

- 1 乙及び丙は、第2条の物品に係る入札等の事務を甲に委託する。
- 2 甲は、甲の物品購入に係る規則等に基づき、入札等の事務を実施する。
- 3 物品の共同調達に必要な入札参加資格条件、予定価格及び入札公告の内容は、甲、乙及び丙が協議して定める。
- 4 乙及び丙は、甲に対して、入札参加資格審査に必要な情報を提供する。
- 5 前4項の規定は、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の2の規定により随意契約によることができる場合に準用する。

（契約）

第5条

- 1 物品の購入契約は甲、乙及び丙がそれぞれの約款により締結する。
- 2 甲、乙及び丙それぞれの契約金額の決定方法は、甲、乙及び丙による協議の上、別途定める。

（納品検査）

第6条

共同調達した物品の納品検査は、甲、乙及び丙が第3条の仕様に定める自らの購入分について行う。



(その他)

第7条

この協定に疑義が生じた場合、又はこの協定に定めのない事項については、甲、乙及び丙による協議の上定める。

この協定を証するため、本書3通を作成し、甲、乙及び丙記名押印の上、各1通を保有する。

令和5年2月6日

甲 東伊豆町
代表者 東伊豆町長 岩井 茂樹



乙 松崎町
代表者 松崎町長 深澤 準弥



丙 西伊豆町
代表者 西伊豆町長 星野 浄晋



令和5年3月29日

教育委員会の共同設置専門部会

(県教育委員会)

(要 旨)

第34回の専門部会を開催し、来年度の予定等について協議を行った。

1 会議の概要

(日時) 令和5年3月13日(月) 14時～16時
(議事) 来年度の予定(主な協議事項等)ほか

2 協議内容

令和5年度の専門部会での主な協議事項や賀茂地域住民アンケート調査結果について情報共有及び意見交換を行った。

項 目	内 容
未来を切り拓くDream授業・賀茂版	8月実施、終了後振り返り
しずおか寺子屋 in 賀茂キャンパス	8月実施、終了後振り返り
大学等連携	賀茂キャンパス活用推進委員会 ほか
調査研究	市町の要望を踏まえて実施(学校統合、社会教育等)
賀茂地域教育振興方針(R2～5)	5年度中に改訂作業を実施(詳細は別添資料のとおり)

【意見交換の概要】

- ・ Dream授業で学んだことを参加生徒が学校に還元できる仕組みがあると良い。
- ・ 下田市以外での寺子屋の開催や、日常的に高校生が放課後に小中学生の学習指導を行うなど、寺子屋の取組を発展させられると良い。
- ・ ボランティア活動が子どもたちの地元愛の醸成に繋がっている。
- ・ 小中高の接続・連携を強め、賀茂地域全体でどのような人材を育てたいか議論したい。

3 今後のスケジュール(予定)

時 期	内 容	協議事項等
5～6月頃	第35回専門部会	Dream授業・賀茂版、しずおか寺子屋in賀茂、賀茂地域教育振興方針の改訂方針 等

賀茂地域教育振興方針の改訂

(教育政策課)

1 賀茂地域教育振興方針（令和2～5年度）の概要

前方針（平成28～令和元年度）で進めてきた連携の仕組みを活かして、子供たち一人一人に賀茂地域のよさを伝えていく視点に重点を置いた取組を進める。

○「賀茂の教育」の基本理念 ～「賀茂の子」～

「『賀茂は一つ』の想いのもと、ふるさとに誇りと愛着を持ち、地域の発展に貢献できる人」

○「賀茂の教育」の基本目標

- ・学校・家庭・地域が連携し、地域全体で「賀茂の子」を育てる環境づくり
- ・学校教育・社会教育の魅力化により、教育で人を呼び込む地域づくり

○ 施策の方向性と重点取組

	方向性	今後の取組（柱）
1	賀茂地域の将来に向けて、地域全体で取組を進めていく一体感の形成	「賀茂の子」の理念の共有
2	子供たちが、「賀茂地域に帰ってきたい」と思えるよう、地域の魅力を伝える教育の充実	①幼児教育の推進 ②活力ある小・中学校づくり（学校統合を含む） ③高校の魅力化 ④大学・学生との連携（フィールドワーク等）
3	子供たちが、地元に戻ってきて、学び続けることや地域に貢献できる環境の構築	④大学・学生との連携（地域づくり人材等育成） ⑤社会教育の魅力化

○ 重点取組の主な内容

重点取組	主な取組項目
①幼児教育	幼児教育アドバイザー巡回、研修の充実、家庭・地域との連携強化
②小・中学校	研修・ICT活用、地域学（賀茂版 Dream 授業）、学校統合の研究
③高校	地域の関係者が連携した高校の魅力化、教職員の資質向上、ICT活用
④大学・学生	フィールドワーク等の推進、観光コースとの連携、賀茂キャンパス活用
⑤社会教育	社会教育に係る研究（施設間連携、FM等）、社会人コースの支援

2 賀茂地域教育振興方針の改訂

令和5年度が現方針の最終年度であることから、これまでの取組の進捗や成果等を踏まえ、今後の重点取組等について令和5年度に改訂作業を行う。

<想定スケジュール>

5～6月頃	第35回専門部会（現方針の取組状況確認、改訂方針の協議）
10～11月頃	第36回専門部会（改訂素案の協議）
2～3月	第37回専門部会（改訂案の協議）

賀茂地域住民アンケート調査事業（実施結果）

（賀茂地域局地域課）

（要旨）

人口減少や少子高齢化等の課題解決に向け、賀茂地域が新たな価値を創造できる場所、新たな生き方を実現できる場所となるために、必要な施策について、考察を行うことを目的に実施した各アンケートの結果を報告する。

1 調査概要

各世代ごとにアンケートを実施し、定住意識に対する世代間の影響及び住民ニーズの調査を行った。

学生アンケート

調査対象：賀茂地域の小6・中3・高3の生徒
 調査期間：R4.9.1～R4.9.15
 調査方法：各学校にアンケートを配布・回収
 調査対象数：1,085人 回収率：94.7%
 調査回答数：1,027人

住民アンケート

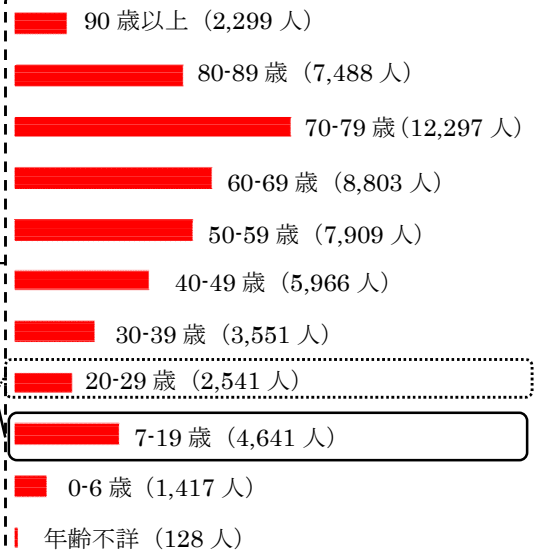
調査対象：賀茂地域の全住民
 調査期間：R4.12.1～R4.12.28
 調査方法：商工会等を経由し、アンケートを配布・回収。Web上でも実施。
 調査対象数：約58,000人
 調査回答数：1021人

二十歳の若者アンケート

調査対象：賀茂地域の二十歳の集い対象者
 調査期間：R4.10.1～R5.1.11
 調査方法：対象者へWebアンケートを実施
 調査対象数：約500人
 調査回答数：169人

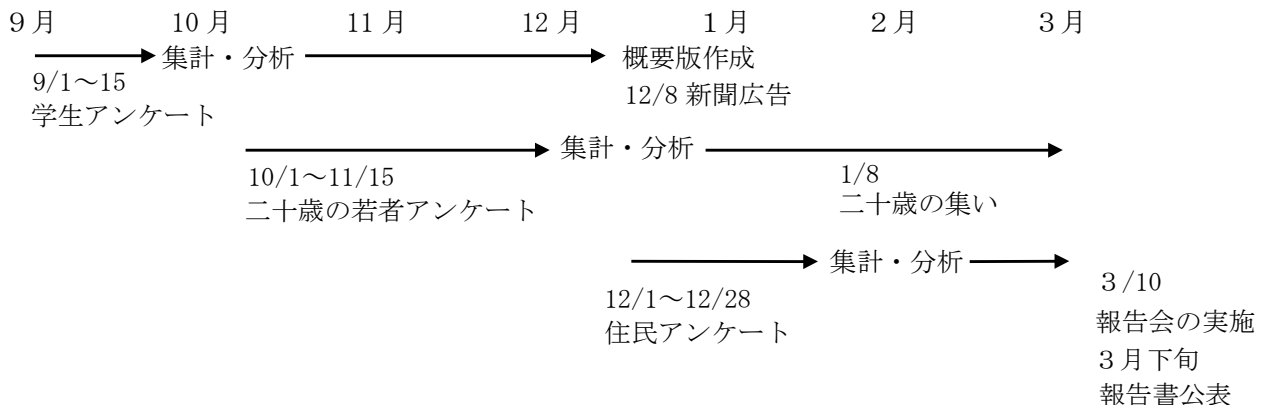
〈調査対象と世代別人口〉

賀茂地域の総人口：57,040人（R4.10.1）



令和4年度静岡県年齢別人口推計より引用

〈調査スケジュール〉



〈委託先〉一般社団法人伊豆半島創造研究所（下田市2丁目12-17）

平成28年度及び令和元年度アンケート調査委託先

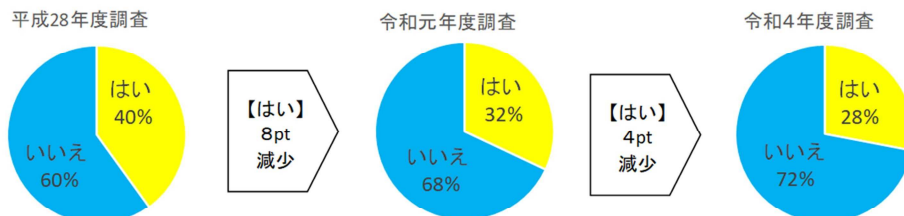
2 各アンケート調査結果

(1) 学生アンケート調査

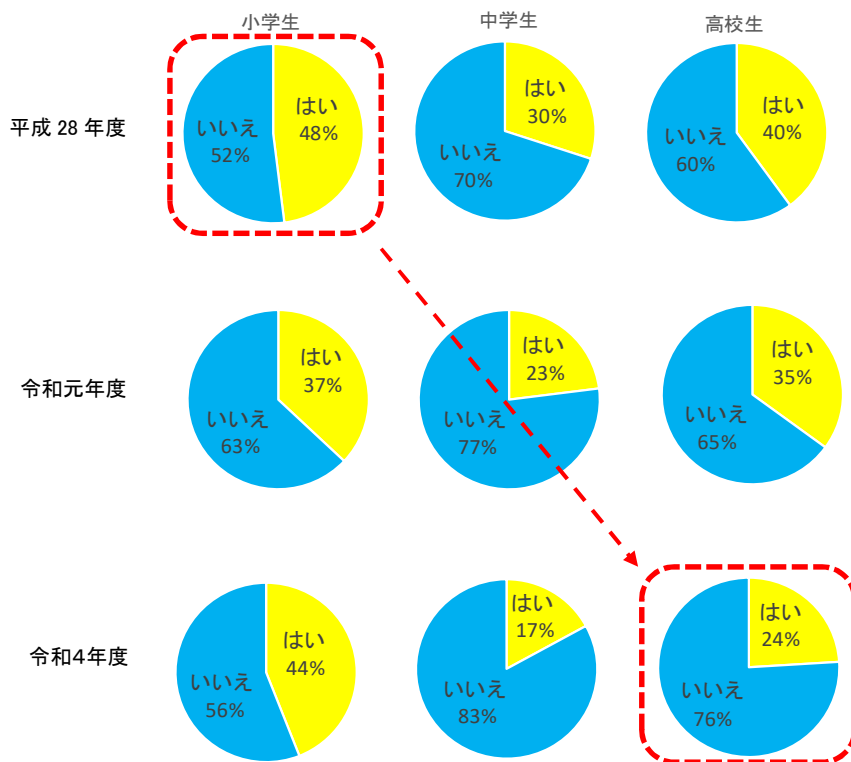
ア 「今から 15 年後、あなたは賀茂地域に住んでいたいですか」に対する回答

○小・中・高全体で「はい」が 28%、前回調査の 32%と比べて 4 ポイントの減少。

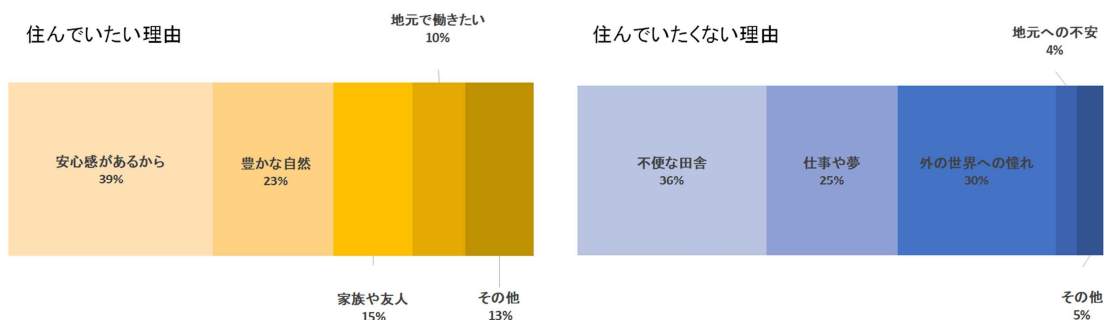
調査開始から 3 期連続の減少となった。



○進級した生徒の意識変化を見ると、小学生として賀茂地域に「住んでいたい」という意見が最も高い世代であったが、高校生となった現在は「住んでたくない」が最も高い高校生世代となった。

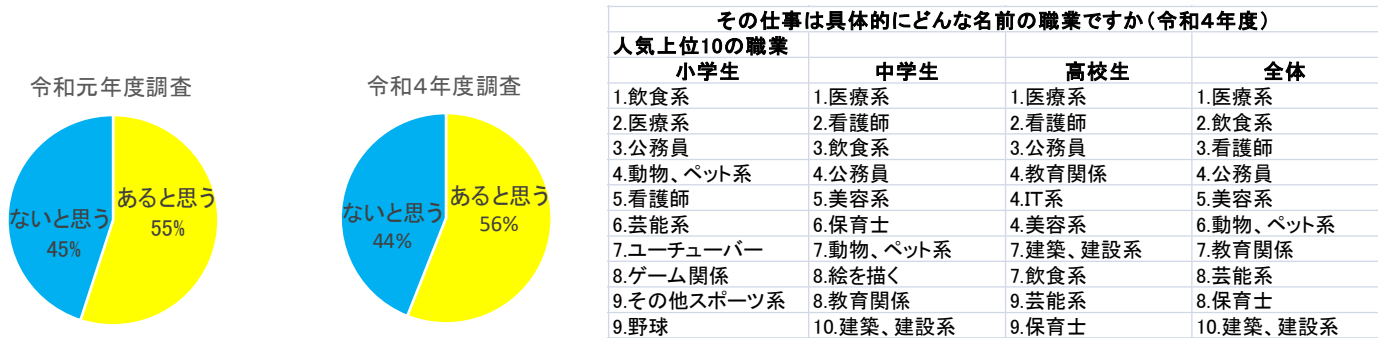


○それぞれの理由について、前回調査から、大きな変化はなかった。



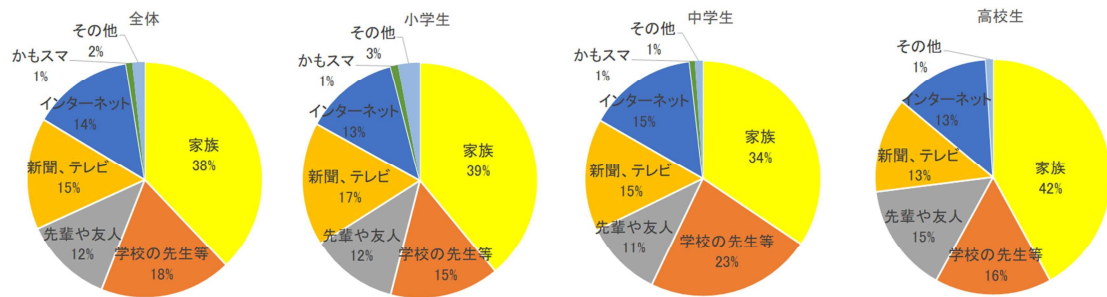
イ 「将来やりたい仕事は賀茂地域にありますか？」に対する回答

○割合、上位10の職業について、前回調査から、大きな変化はなかった。

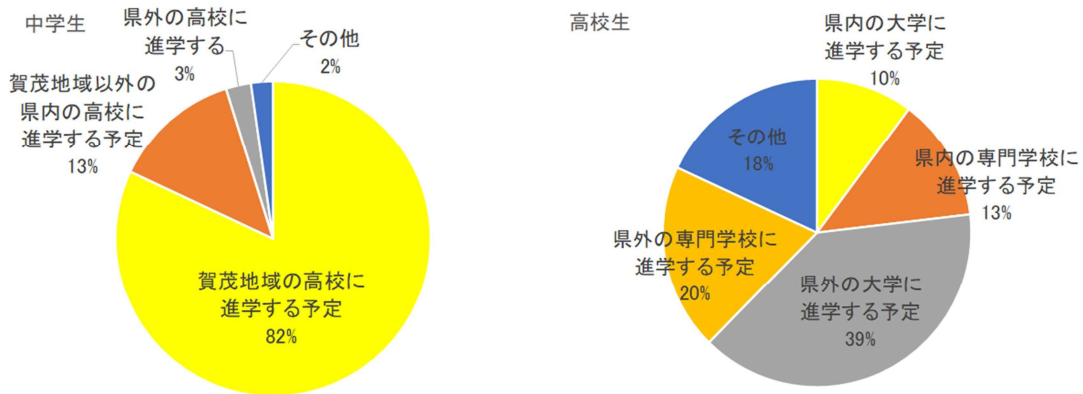


ウ 「あなたは賀茂地域にどんな仕事があるかをどうやって知りましたか？」に対する回答

○小・中・高の各世代間において、大きな変化はなかった。



エ 「あなたの進路について」に対する回答



○中学生の進路

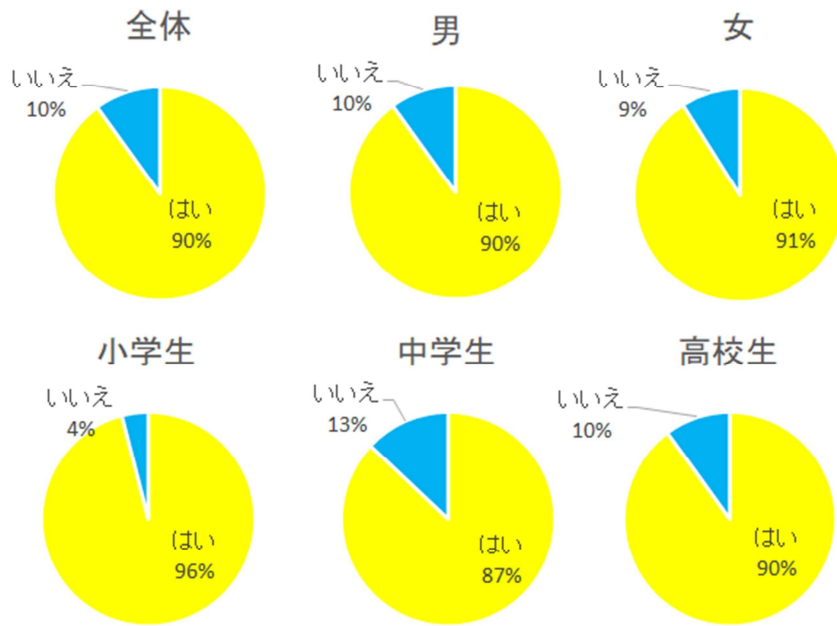
	下田市	河津町	東伊豆町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町
賀茂地域高校	101人	41人	40人	42人	37人	34人
賀茂地域以外高校	15人	7人	12人	11人	4人	4人
県外高校	5人	0人	1人	2人	1人	0人
その他、無回答	3人	0人	0人	1人	1人	2人

○高校生の進路

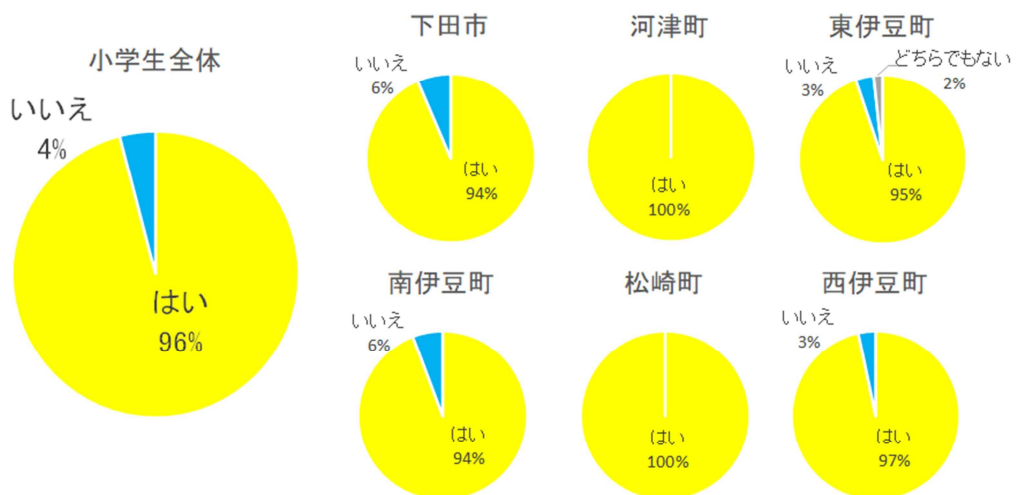
	下田高校	南伊豆分校	稲取高校	松崎高校
県内大学	19人	3人	3人	7人
県内専門学校	6人	4人	14人	17人
県外大学	106人	0人	12人	6人
県外専門学校	17人	5人	20人	20人
その他、無回答	9人	5人	22人	21人

オ 「あなたは賀茂地域が好きですか」に対する回答

○小・中・高全体で「はい」が90%となった。

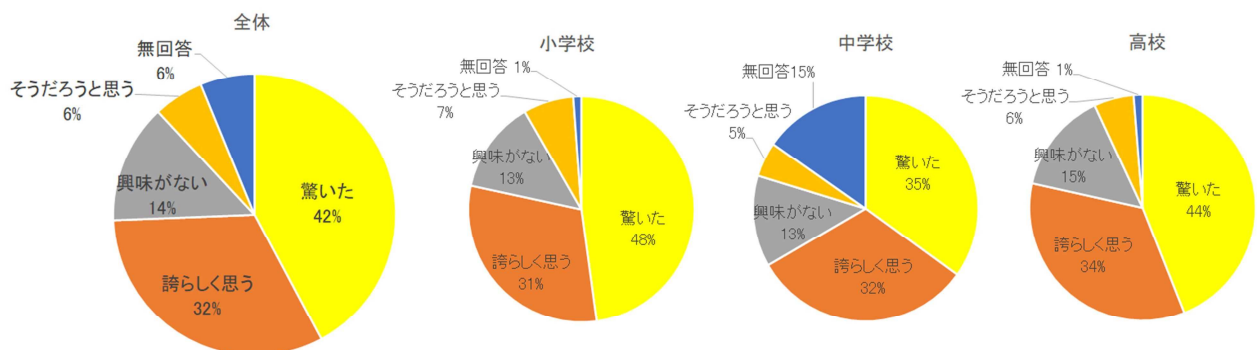


特に、河津町と松崎町の小学生では、「はい」と回答した割合が100%となった。



カ 「静岡県が2年連続移住したい都道府県1位に選ばれましたが、そのことについてどう感じますか」に対する回答

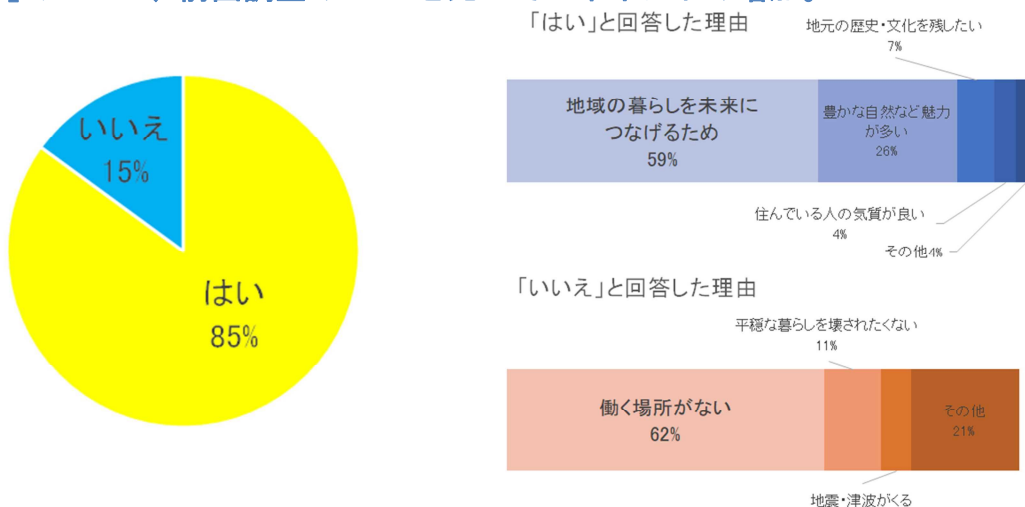
○小・中・高の各世代で「驚いた」が最も多い回答となった。



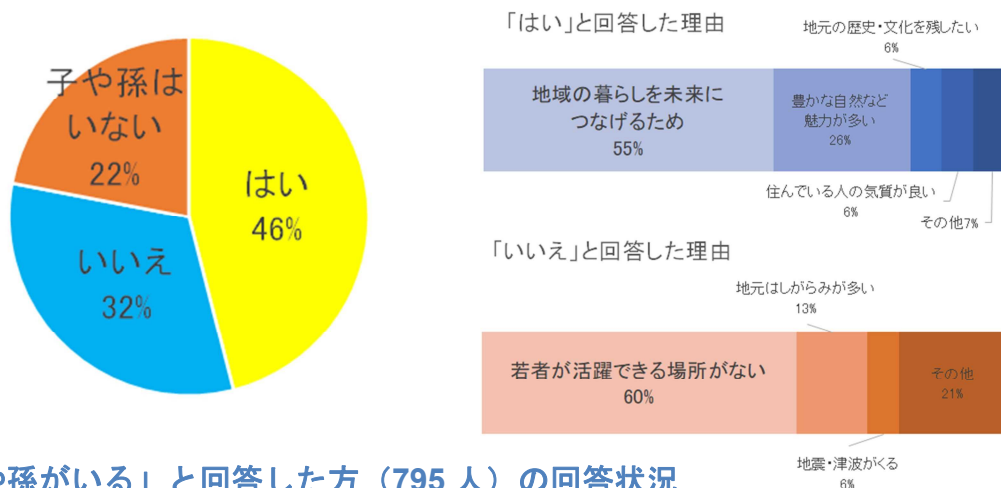
(2) 住民アンケート調査

ア 「将来的にたくさんの人に地元に住んでほしいと思いますか」に対する回答状況

○ 「はい」が85%、前回調査の84%と比べて1ポイントの増加。

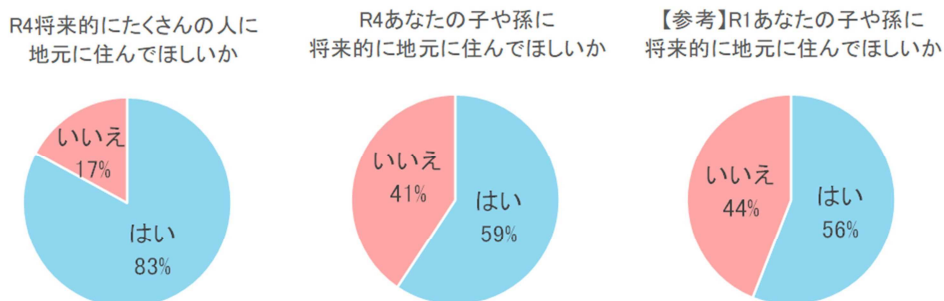


イ 「あなたのお子さんやお孫さんに将来的に地元に住んでほしいと思いますか？」に対する回答状況



○ 「子や孫がいる」と回答した方（795人）の回答状況

「あなたの子や孫に将来的に住んでほしいか」は前回調査に比べて3ポイントの増加。



・市町別内訳

	全体	下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町
はい	472	191	63	52	68	49	49
いいえ	323	118	72	42	43	27	21

・「はい」と回答した方の理由における市町別内訳 ※複数回答あり

	全体	下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町
地域の暮らしを未来につなげるため	260	103	31	30	41	27	28
豊かな自然など魅力が多い	123	53	14	13	15	15	13
地元の歴史・文化を残したい	31	10	7	2	4	5	3
住んでいる人の気質が良い	29	11	5	6	2	1	4
その他	31	14	6	3	6	1	1

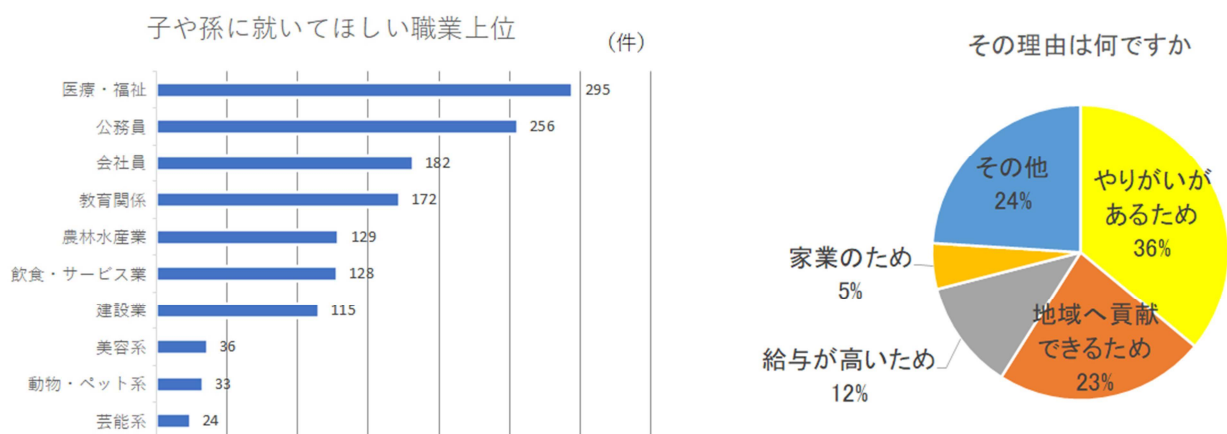
・「いいえ」と回答した方の理由における市町別内訳

	全体	下田市	東伊豆町	河津町	南伊豆町	松崎町	西伊豆町
若者が活躍できる場所がない	197	75	40	29	21	19	13
地元はしがらみが多い	44	10	16	5	7	4	2
地震・津波が心配	22	5	4	4	3	4	2
その他	64	28	12	7	12	1	4

ウ 「あなたのお子さんやお孫さんにどのような仕事に就いて欲しいですか」に対する回答状況

○学生アンケート同様、「医療・福祉」に関する職業が上位となった。

また、「その仕事は賀茂地域にある」と答えた方は67%となった。



エ 「将来的に子供たちが帰ってくるような地域にするには、どうすれば良いと思いますか」に対する回答状況



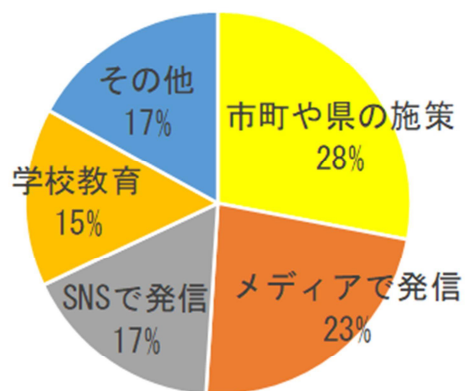
オ 「市町の魅力について教えてください」に対する回答状況

市町	豊かな自然	住んでいる人の気質が良い	歴史や文化が素晴らしい	仕事と趣味が両立しやすい	ビジネスチャンスがある	その他
下田市	309	31	52	19	4	13
東伊豆町	124	13	7	5	6	4
河津町	83	15	7	4	1	3
南伊豆町	92	21	2	8	5	4
松崎町	51	20	14	3	0	1
西伊豆町	70	13	3	5	3	0
総計	729	113	85	44	19	25

その魅力は地域の方へ十分に伝わっていると思いますか

市町	はい	いいえ
下田市	44% (192 人)	56% (241 人)
東伊豆町	49% (77 人)	51% (81 人)
河津町	53% (60 人)	47% (54 人)
南伊豆町	47% (63 人)	53% (70 人)
松崎町	40% (34 人)	60% (52 人)
西伊豆町	46% (45 人)	54% (52 人)
総計	46% (471 人)	54% (550 人)

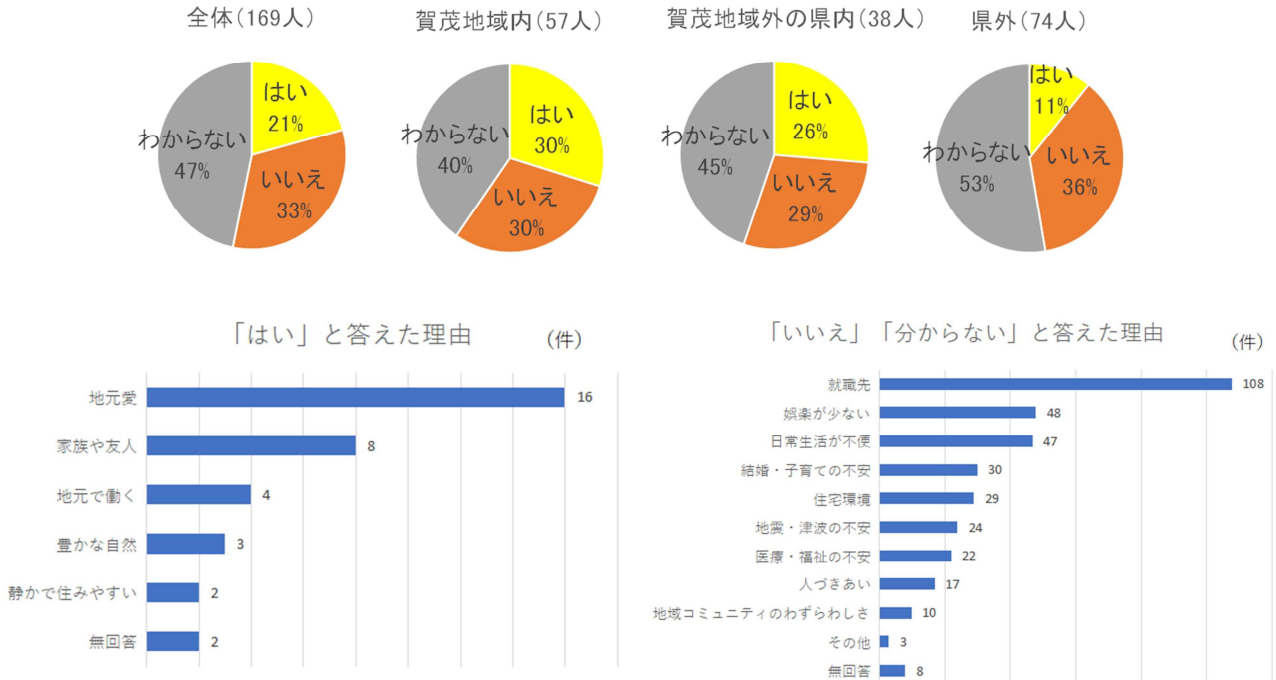
市町の魅力をどのように発信すれば地域の方に伝わると思いますか



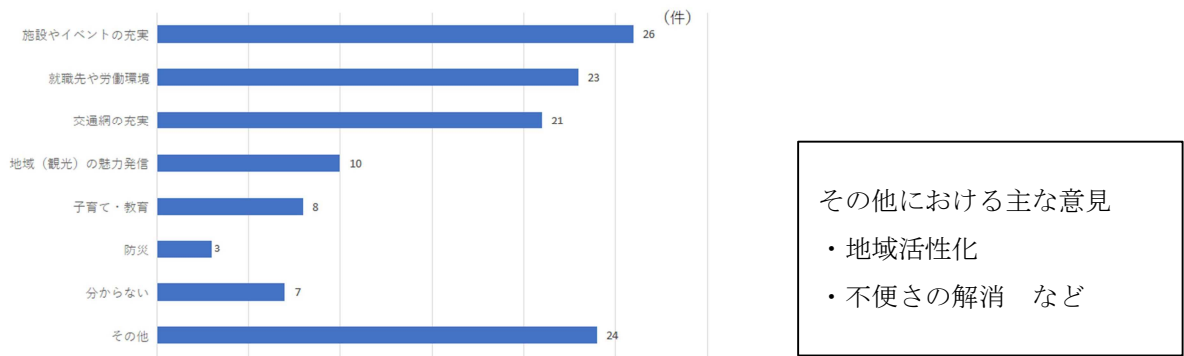
(3) 二十歳の若者アンケート調査

ア 「将来、出身地、賀茂地域内で生活したい、生活し続けたいと考えていますか」に対する回答（現在の住まい別に集計）

○県外に住んでいる学生で「はい」が11%となった。



イ 「学生アンケートの結果を踏まえて、賀茂地域に住む（住み続ける）ためには、どのような取り組みが必要と考えますか」に対する回答



ウ 「あなたは賀茂地域に魅力を感じていますか」に対する回答

(現在の住まい別に集計)

○「感じている」と答えた方の 79%が「自然」に関する理由であった。

